

抹茶

植村 榮

京都・宇治といえば、平安時代の1053年に藤原頼通によって建立された平等院鳳凰堂で有名だが、もう1つ、宇治茶というブランド名が示すとおりお茶の産地としてもよく知られている。お茶はまず奈良・平安時代に留学僧によって唐から伝えられたが、ごく一部の貴族や僧侶だけが薬用として口にできる貴重なものであった。武士や庶民などに広まるのは、鎌倉時代に臨済宗の禅僧・明菴栄西（建仁寺開祖）(1141~1215)が1191年に宋から茶の種を持ち帰って境内に植えて以降のことであり、彼は茶とその薬効などを記した「喫茶養生記」を著し、茶祖と呼ばれている。その種を明恵上人（1173~1232）が京都の梅尾・高山寺に播いて茶の栽培を始め、さらにその弟子が宇治の地に茶木を植えたことから宇治茶の歴史は始まっている。

一般庶民は、収穫した茶葉や茎を煎じて煮だした茶色から赤黒い色の「煎じ茶」を長らく飲んでいたのだが、時代が下がって、宇治郊外の宇治田原に生まれた永谷宗円（1681~1778）が、摘み取った茶の新芽をまず蒸して、それを焙炉の上で手揉みしながら乾燥させるという方法で、美しく緑色に仕上がりに甘味とよい香りをもつ「青製煎茶」の開発に1738年に成功する。これが今も飲まれている煎茶であり、彼は煎茶の祖とも呼ばれている。

一方、鎌倉末期から室町時代に武士や上流階級に好まれていたお茶は、「抹茶」である。室町時代の中頃から末頃にかけて、新芽の出る茶の木の上に棚を建て、その棚に藁や葦を置く「棚かけ被覆」や茶葉面にそれらを直に置く「直掛け被覆」などの覆下栽培が行われ出し、太陽光を遮ることによって茶葉の中の旨味成分であるグルタミン酸誘導体（L-テアニン）が渋味成分のカテキン（フェノール性水酸基を多く持った化合物）類に変化する割合を抑えられるようになった。ずっと最近では、ポリエチレン製の黒い布（寒冷紗）で覆う方法により約60~90%が遮光されている。摘みとった茶葉を蒸してから揉まずに平らで柔らかなまま乾かして得られるものが碾茶で、これを石臼で細かくすり潰したものが抹茶である。一方、手揉みして針状にし乾かしたものが玉露である。

さて、このところ世界的な健康志向の高まりや日本文化への関心などから抹茶の需要が急速に拡大している。従来からのお点前の「お薄」やかき氷「宇治金時」以外に、パフェ、クッキー、ソフトクリームなど多くのスイーツ類に

加えられ、さらには抹茶ビールや抹茶ラテまで登場していることもその一因であろう。現に、宇治でお茶問屋が多く軒を並べる商店街は主に海

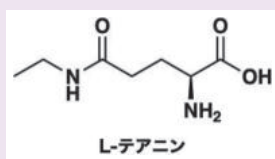


建仁寺の柴西禅師顕彰茶碑（左）と被覆された茶木（右）（ともに筆者撮影）

外からの観光客で賑わっており、抹茶の生産が追い付かないという声も聞く。お茶というと、まずは茶道、岡倉天心によって英語で書かれ、米国ニューヨークで出版された「茶の本」(The Book of Tea) (1906年刊)に述べられている茶事の高い精神性、にしか結び付かない筆者のような昔人間には信じられないくらいの変わりようである。

宇治に関する記述が長くなったが、現在我が国でのお茶の生産量は拮抗する鹿児島県と静岡県との両県で全体の約70%を占めており、京都府はせいぜい3%程度に過ぎない。しかし、こと抹茶に関しては加工品も加えると日本一の生産量とのものであり、宇治茶というブランド力の強さを物語っている。

お茶の味を構成する要素には苦味、渋味、旨味、甘味の4つがある。このうち、苦味と渋味はそれぞれカフェインと広くはタンニンと呼ばれるカテキン類に、一方、旨味および甘味はグルタミン酸とテアニンおよび糖類によるものである。乾燥茶葉では、タンパク質や炭水化物（植物繊維）など以外の化学成分としては重量でおおよそタンニンが20~35%程度、カフェインが3~5%程度、テアニンが1~2%程度であるとされている。お茶が含むこれらの化学成分についての研究は古くから行われているが、何をさし置いてもまず言及すべき研究者は、お茶の水女子大学の「お茶博士」辻村みちよ（1888~1969）である。彼女はまず三浦政太郎（1879~1929）と共同でお茶には多量のビタミンCが含まれていることを発見して1924年に発表、さらに1929~1935年にかけて、茶葉に何十種類と含まれる渋味成分タンニンの1つである(-)-エピカテキンやそのガロイル体（没食子酸エステル）などの分離と結晶の単離を行い、分析機器などがほとんどない昭和初期にその幾つかの化学構造を決定した。これらの研究で1932年に我が国で女性として初めて農学博士号を取得している。



「お茶博士」の努力と苦勞に思いを馳せ、深い敬意を表しつつ「お薄」を一服。

うえむら・さかえ  
京都大学名誉教授・日本化学会フェロー/化学遺産委員会顧問